



株式会社アン・モード

平成27年度採択

【対象類型】 ものづくり技術

【事業類型】 高度生産性向上型 最新モデル

事業計画名

3DCAD-CAMシステムを用いた自動車内装品の新規展開及び生産高度化



導入したパソコン搭載機の自動延反機、持ち運び可能なタブレットでの操作も可能

事業の背景・目的

当社は昭和 51年に衣料縫製企業として設立したが、異業種市場への営業展開を図り、現在は自動車内装用品、官公庁、ゼネコン向けベスト、医療用マットレスなどを手がけている。中でも主力である自動車内装用品は、受注生産ではなくコンペティションによって決まる商材であるため、何種類かの試作品を提示しなければならない。受注には試作開発までの時間短縮と提示点数の多さが左右する。しかし、既存の生産体制は人手による作業工程や現有の設備では時短に対応しきれていない。最終的なエンドユーザーは自動車メーカーだが、その間に当社の顧客があり、そちらとの情報やデータのやり取りにも時間がかかっている。時短を含め、生産体制の構築のため、最新設備の導入とIoT化を図る。

事業内容

本事業では、受注のための試作開発品の製作期間短縮と、受注後から納期までの期間短縮と生産量に対応し、生産コストの低減化を図るために、3D CAD・自動延反機・自動裁断機(CAM)を導入した。

4年ほど前までは、試作品製作のために、遠方の自動車工場に出向いて直接車から型紙を取ったり、素材である繊維の伸縮により再度調整が必要なこともあり時間を要した。それが3D CADと自動延反機の導入により、顧客から製品データが送られた時点で素材繊維の伸縮、強度を考慮した試作開発に取り組むことが出来るため、大幅な時短となる。

また受注後、納期までの期間に大量に製作しなければならない、手作業で裁断していたものを導入した自動裁断機(CAM)により自動化によって対応する。

業務内容

●自動車内装品、安全用品官公庁商社向け用品、
その他各業界向け用品等の企画、OEM製造、販売

主に縫製加工品をメインにしているが完成品までの
その他、加工を一貫して企画、製造をしている。
試作品作成から量産展開まで対応。
スポット品等の企画、製造。



代表取締役 堀川 俊一

代表者:堀川 俊一
設立年:昭和51年4月
資本金:1,000万円
従業員:56名

住所:山形県米沢市川井字元立4889-21
電話:0238-40-1530 FAX:0238-40-1531
URL:<http://wazaari.biz/db/anmode/>
e-mail:s.horikawa@anmode.co.jp

自動車内装用品受注はコンペティションによるオールorナッシング 企画開発力・スピード・品質向上による生産体制で取得率アップ、受注拡大



3D CADで正確に早くデータづくりが可能に



製品の車載マット、本事業で導入した設備により大幅時短、コスト削減

事業の成果

本事業であるIoT化システム及び最新設備の導入時に
本社・工場を移転し、生産体制を整えた。

3D CAD・自動延反機の導入により、顧客との情報
共有、コンペ用の試作品製作の短時間化、提示品の多
品・多様化が可能になったことで、取得率が上がった。
受注が決まれば、短期間に大量に納品しなければなら
ず、導入した自動裁断機(CAM)は、3D CADの
データを共有できるため、自動で裁断を行い、延反機
から裁断機への生地の変換も自動制御され、人手に
頼っていた作業が大幅に時間短縮が図れた。

提案した日本の大手メーカーの輸出車向けの用品
の受注が決まり、生産体制が構築されたことで、短期
間に大量の供給が可能になった。

今後の展望

事業の拡大のため、本社・工場移転も含め計画的に
生産体制の構築を行っている。

本事業により売上が上がったが、今後の新規展開、
販路拡大のために、自動車用品のカテゴリーから自動
車部品へと移行を目指すことで、確実に受注数を増や
していきたい。さらに受注体制も、現在の委託加工で
はなく、部品販売メーカーとして、自社の繊維(生地)の
加工技術を活かした自動車部品3Dマットの供給を目
的としている。

そのためには、今以上に品質管理の重要性が増す
ため、IoTを活用したトレーサビリティ管理システムの
強化と構築を行いながら、今後も計画的な設備投資、
試作開発、受注製品の生産性の向上を図っていく。